

令和4年9月2日（金）

今日はSDGsの17の目標のうちの5つ目の「ジェンダー平等を実現しよう」とは
ということなのかを子どもたちにお話をしました。

～男の子と女の子はみんな同じ～

「女の子だから」「男の子だから」と言われたことはありませんか？

男女の違いには、カラダのつくりのほかに、社会的・文化的な役割の違いがあります。

「男性はこうあるべき、女性はこうあるべき、するべき」と、みんなが無意識に
決めつけている女性と男性の違いを「ジェンダー」といいます。

たとえば、「外で働くのは男性で、家のことをするのは女性」

「男性は青、女性はピンク」と決めつけること。こういった先入観が、
ジェンダーの不平等や差別を生んでいます。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



ちが
男女の違いにある不平等や差別をなくすこと

せいべつ
性別の違いに関わらず多様な性のあり方を

だれ のうりよく はっき
受け入れて誰もが平等に能力を発揮できるようにすること



「女の子らしく」「男の子らしく」・・・

「男の子なんだから」「女の子なんだから」・・・
ということを行わない。
男の子も女の子もみんな
同じ。みんな一緒という
考え方。



ジェンダーの平等とは、お父さんとお母さんが仕事も家事も育児も、すべてにおいて協力し合い、同じように分担することです。

*6歳から11歳の子どものうち、一生学校に通うことができない女の子は男の子の約2倍です。